令和４年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

小　学　校

注意　・答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
・本問題では、小学校学習指導要領（平成29年告示）を「指導要領」、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説を「指導要領解説」とする。

第１問題　国語科について、次の問に答えよ。

問１　第３学年で説明文を使った学習を行った。資料１を読み、後の（１）～（３）に答えよ。

資料１

うめぼしのはたらき

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（「ひろがる言葉　小学国語　三上」　教育出版）

（１）段落には二種類あるが、①、②の名称を漢字で答えよ。

①　改行によって示されるいくつかの文のまとまりである段落

②　①のいくつかが意味のつながりの上でひとまとまりになった段落

（２）段落の中の大事な内容を「要点」という。第四段落の要点をまとめるため、中心となる文を第四段落より抜き出し、記述せよ。

（３）A～Dは、指導要領「C　読むこと」における説明的な文章の指導事項である。第３学年及び第４学年の内容を一つ選び、記号で答えよ。

A　文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

B　目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

C　文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

D　文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

2025 kyosai-guild.jp

問2　次は、指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2内容〔思考力・判断力・表現力等〕A話すこと・聞くこと (1)」である。［ a ］～［ d ］にあてはまる語句をA～Hから選び、記号で答えよ。

> (1)　話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
> ア　［ a ］を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、［ b ］ために必要な事柄を選ぶこと。
> イ　相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の［ c ］を考えること。
> ウ　話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。
> エ　必要なことを［ d ］したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。
> オ　［ a ］や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

A　構成　　B　互いの立場　　C　伝える　　D　目的　　E　記録　　F　発表　　G　順序
H　伝え合う

問3　次は、指導要領「第2章 第1節 国語 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3)」である。［ e ］～［ h ］にあてはまる語をA～Hから選び、記号で答えよ。

> (3)　第2の内容の指導に当たっては、学校図書館などを目的をもって［ e ］に利用しその機能の［ f ］を図るようにすること。その際、本などの種類や［ g ］、探し方について指導するなど、児童が必要な本などを選ぶことができるよう配慮すること。なお、児童が読む図書については、［ h ］のため偏りがないよう配慮して選定すること。

A　教科指導　　B　配置　　C　充実　　D　人間形成　　E　主体的　　F　活用　　G　冊数
H　計画的

問4　ローマ字表記について、後の（1）、（2）に答えよ。

（1）指導要領解説「国語編 第3章 第2節 第3学年及び第4学年の内容 1 (1) ウ」について、正しいものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A　児童が日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、書き、話し、聞くことができるように指導するものとする。

B　ローマ字は児童の生活に身近なものになっていることなどを踏まえ、第4学年で指導するものとする。

C　指導にあたって取り扱う日常使われている簡単な単語とは、地名や人名などの固有名詞を含めた、児童が日常目にする簡単な単語のことである。

D　ヘボン式による表記の指導に当たっては、訓令式とは異なり日本語の音が子音と母音で成り立っていることを理解することが重要である。

（2）「単位」をローマ字で記述せよ。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　社会科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第２章 第２節 社会 第１ 目標」の一部である。［ a ］、［ b ］にあてはまる語をＡ～Ｆから選び、記号で答えよ。

> 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。
> (1)　地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して［ a ］について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
> (2)　社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を［ b ］したりする力、考えたことや［ b ］したことを適切に表現する力を養う。

Ａ　探究　　Ｂ　日本国　　Ｃ　選択・判断　　Ｄ　議論　　Ｅ　人間関係　　Ｆ　社会生活

問2　次は、指導要領「第２章 第２節 社会 第２ 各学年の目標及び内容〔第６学年〕２内容 (1)」の一部である。後の（１）～（４）に答えよ。

> (1)　我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
> ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
> (ｱ)　日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、①国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の［ c ］は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。
> (ｲ)　②国や地方公共団体の政治は、［ d ］の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。
> (ｳ)　見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめること。

（１）［ c ］・［ d ］にあてはまる語句をＡ～Ｆから選び、記号で答えよ。

Ａ　民主政治　　Ｂ　公正・公平　　Ｃ　平和主義　　Ｄ　国民主権　　Ｅ　政治の取組み
Ｆ　基本的人権の尊重

（２）下線部①に関して、国民の権利である国政選挙の選挙権が付与される条件を示す下の文の［ e ］にあてはまる数値を答えよ。

> 日本国民で満［ e ］歳以上であること

（３）下線部②について指導する際、取り上げる取組として、指導要領「第２章 第２節 社会 第２ 各学年の目標及び内容〔第６学年〕３内容の取扱い (1)」では、「社会保障」の他に何が示されているか、一つ答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

（4）指導要領「第２章 第２節 社会 第２ 各学年の目標及び内容〔第６学年〕３内容の取扱い (3)」であげられた事項として適切でないものをＡ～Ｄから選び、記号で答えよ。

Ａ　我が国の国旗と国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を養うが、諸外国の国旗と国歌まで尊重する態度を養う必要はない。

Ｂ　我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うよう配慮すること。

Ｃ　今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

Ｄ「国際連合の働き」については、ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げること。

問３　第６学年で「戦国の世から天下統一へ」の学習を行った。次の**資料２**は図１の長篠の戦いの屏風絵を見ながら児童が話し合っている場面である。後の（１）～（４）に答えよ。

資料２

Ｃ１：織田信長や豊臣秀吉など、有名な武将がいるね。

Ｃ２：左と右の軍で武器や戦い方がちがうよ。どちらが勝ったのかな。

Ｃ３：③鉄砲は、外国から入ってきたんだね。このころは、どんな時代だったのかな。

（Ｃは児童の発言を示す。）

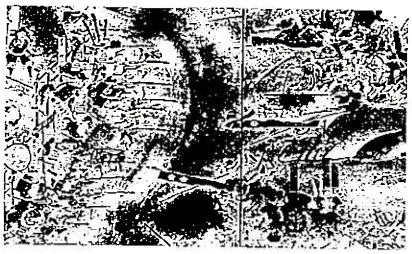


図１

（１）下線部③について、鉄砲はどこの国の人から伝えられたか、答えよ。また、最初、日本のどこに伝わったか、**図２**のＡ～Ｄから選び、記号で答えよ。

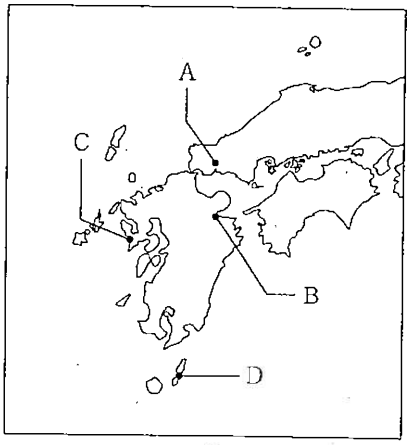


図２

（２）戦国時代に、アジアやヨーロッパ諸国の経済や文化の交流に大きな影響を与え、平成19年に世界遺産に登録された、アジアで初めての鉱山遺跡の名称を答えよ。

（３）指導要領「第２章 第２節 社会 第２ 各学年の目標及び内容〔第６学年〕３内容の取扱い (2)」に示されている記述をふまえ、適切でないものを次のＡ～Ｃから選び、記号で答えよ。

Ａ「神話・伝承」については、古事記、日本書紀、風土記などの中から適切なものを取り上げる。

Ｂ　３内容の取扱い (2) に示されている、歴史的事象に関連して国家及び社会の発展に大きな働きをした代表的な人物42名については、必ずすべて取り上げる。

Ｃ　年表や絵画など資料の特性に留意した読み取り方についても指導する。

（４）第６学年で学習する「我が国の歴史上の主な事象」の取扱い方について、指導要領「第２章 第２節 社会 第２ 各学年の目標及び内容〔第６学年〕３内容の取扱い (2)」ではどのように説明されているか、次の語句を用いて説明せよ。

人物や文化遺産、児童の興味・関心

2025 kyosai-guild.jp

第3問題　算数科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第2章 第3節 算数 第1 目標（2）」の一部である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句をA～Fから選び、記号で答えよ。

> (2)　日常の事象を［ア］に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし［イ］に考察する力、［ウ］を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

A　数学的　　B　数理的　　C　数学的な表現　　D　算数的な表現　　E　演繹的・帰納的
F　統合的・発展的

問2　次は、第5学年の「小数のかけ算」の学習の一部である。後の（1）、（2）に答えよ。

> 1mのねだんが80円のリボンがあります。
> このリボン2.3mの代金は何円ですか。

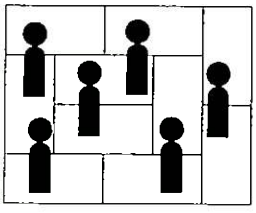
（1）代金を求める式が、80 × 2.3になる理由として適切なものを、A～Dから二つ選び、記号で答えよ。

A　リボンの長さ2.3mは、230cmに直せるから。
B　リボンの長さが2mや3mのときと同じように考えられるから。
C　言葉の式に表すと、（1mのねだん）×（買う長さ）＝（代金）だから。
D　2.3 × 80ができたので、80 × 2.3もできるから。

（2）代金を求める式が80 × 2.3になることを説明する数直線の図を作図せよ。

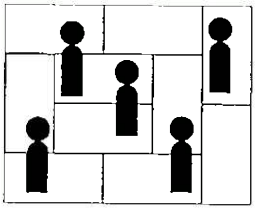
問3　次は、第5学年の「単位量あたりの大きさ」の学習の一場面である。後の（1）、（2）に答えよ。

梅の間



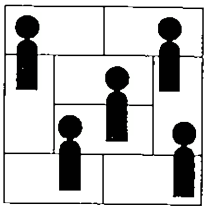
たたみ10枚
子ども6人

桜の間



たたみ10枚
子ども5人

松の間



たたみ8枚
子ども5人

T1：梅の間と松の間では、どちらが混んでいるか調べましょう。
C1：たたみの数が同じだと子どもの数で比べられるけど…。
C2：たたみが40枚の部屋で考えたら比べられそうだ。
C3：どうやって比べるの？
C2：［　　エ　　］。図にあらわすと［オ］になる。
C4：たたみ2枚の部屋はないけど、2枚に何人入るかでも比べられそうだ。
C5：たたみ1枚に何人入ることになるかでもできそうだよ。
C6：子どもの数をそろえても比べられそうだよ。

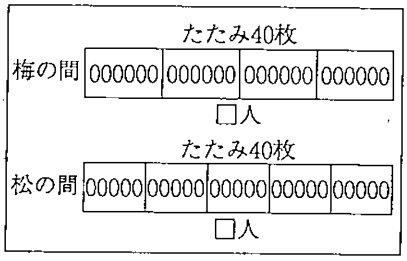
（Tは教師の指導言、Cは児童の発言を示す。）

2025 kyosai-guild.jp

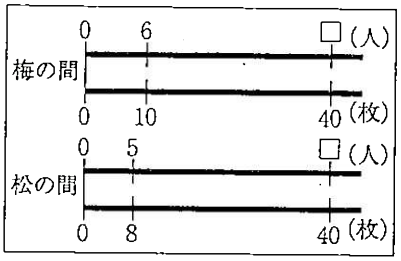
（1）［エ］にあてはまるC２の考えを、数や式、言葉で答えよ。

（2）［オ］にあてはまらない図をA～Cから選び、記号で答えよ。

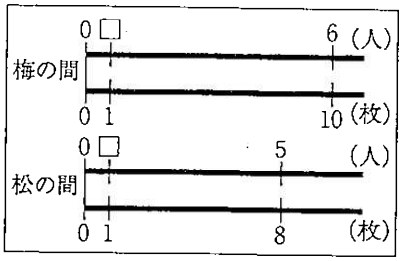
A



B



C



問４　次は、指導要領解説「算数編 第３章 第５節 第５学年の目標及び内容 ２第５学年の内容 Dデータの活用 (1)」の一部である。後の（1）、（2）に答えよ。

> 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの［カ］に着目し、問題を解決するために［キ］を選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。

（1）［カ］、［キ］にあてはまる語句をA～Dから選び、記号で答えよ。

A　特徴や傾向　　B　個数や大きさ　　C　適切な方法　　D　適切なグラフ

（2）第５学年の「データ活用」の学習で「学年によって風邪をひいている児童の割合はどのように違うのか。」を明らかにすることを目的にデータを集めた。このデータを分析するには、どのようなグラフを作成すればよいか、作成するグラフの種類とその理由を記せ。

第４問題　理科について、次の問に答えよ。

問１　次は、指導要領「第２章 第４節 理科 第２ 各学年の目標及び内容〔第３学年〕１目標 (1) 物質・エネルギー」である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句をA～Hから選び、記号で答えよ。

> ① 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な［ア］を身に付けるようにする。
> ② 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主に［イ］を基に、問題を見いだす力を養う。
> ③ 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に［ウ］しようとする態度を養う。

A　知識　　B　技能　　C　差異点や共通点　　D　既習の内容や生活経験
E　予想や仮説　　F　問題解決　　G　探究　　H　対話

2025 kyosai-guild.jp

問2　豆電球がついた導線つきソケットと乾電池を使って、導線と乾電池をどのようにつなぐと明かりがつくのかを調べた。図3は、その結果を表したものである。後の（1）～（3）に答えよ。

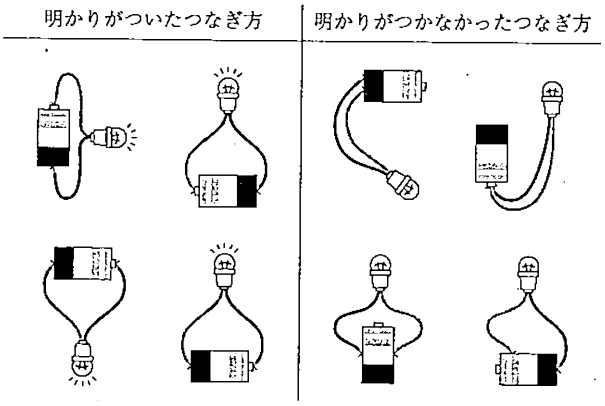


図3

（1）明かりがつくときのつなぎ方とつかないときのつなぎ方を比べ、明かりがつくときのつなぎ方にはどのような共通点があるか、答えよ。

（2）ある児童は明かりがつくつなぎ方でつないだにもかかわらず、明かりがつかなかった。乾電池はきれておらず、また、ソケットからのびる導線も断線していないとすると、原因として何が考えられるか、二つ答えよ。

（3）Aさんは、前回の学習で金属は電気を通すことを学んだ。そこで、乾電池と豆電球、金属でできている空き缶を図4のようにつないだが、豆電球はつかなかった。空き缶が電気を通さなかった理由として考えられることは何か、記せ。また、このことをどのような方法で確かめることができるか、説明せよ。

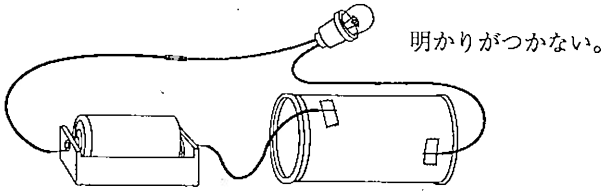


図4

問3　図5のように磁石に鉄くぎをつなげた状態から、鉄くぎを磁石からはなしても、鉄くぎはつながったまま落ちないことがある。これを見たBさんは、磁石にくっついていた鉄くぎが磁石になったからと考えた。この鉄くぎが磁石になったことを確かめる方法を二つ答えよ。

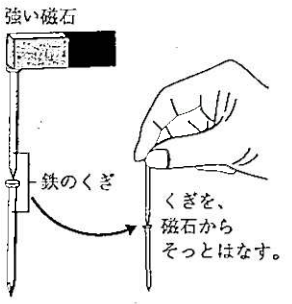


図5

2025 kyosai-guild.jp

問4　図6のように、棒磁石を水の上に浮かべたり時計皿の上にのせたりして自由に動くようにすると、どれも決まった方向を差して止まる理由について説明せよ。

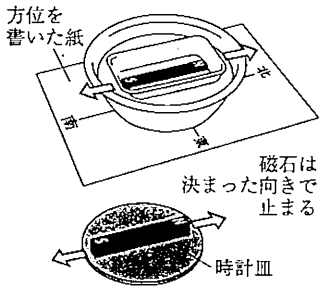


図6

問5　次は、指導要領「第２章 第４節 理科 第２ 各学年の目標及び内容〔第３学年〕３内容の取扱い (1)」である。これについて、指導要領解説で例示された内容をＡ～Ｅから二つ選び、記号で答えよ。

(1) 内容の「Ａ　物質・エネルギー」の指導に当たっては、３種類以上のものづくりを行うものとする。

Ａ　風やゴムの力の働きを活用したものづくりとしては、風やゴムの力を動力に変換するという観点から、例えば、物を動かすことを目的とした、風やゴムの力で動く自動車や風車などが考えられる。

Ｂ　光の性質を活用したものづくりとしては、日光により物の明るさや暖かさが変わるという観点から、例えば、平面鏡を使って物を明るくしたり暖かくしたりすることを目的とした装置などが考えられる。

Ｃ　音の性質を活用したものづくりとしては、音は、ものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係するという観点から、例えば、離れた場所や同時に複数の場所に音声を伝えることを目的とした糸電話などが考えられる。

Ｄ　磁石の性質を活用したものづくりとしては、電流の大きさなどによって電磁石の強さを変えるという観点から、例えば、物を動かすことを目的としたモーター、鉄を引き付けたり放したりして移動させることを目的としたクレーンなどが考えられる。

Ｅ　乾電池や豆電球などを使った、電気の性質を活用したものづくりとしては、風力や太陽光といった自然エネルギーでつくりだした電気を蓄電器に蓄えて効率的に利用することを目的とした照明などが考えられる。

第５問題　生活科について、次の問に答えよ。

問１　次は、指導要領「第２章 第５節 生活 第２ 各学年の目標及び内容〔第１学年及び第２学年〕１目標」である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句をＡ～Ｈから選び、記号で答えよ。

(1)　学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に［ア］をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。

(2)　身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの［イ］をよりよくするようにする。

(3)　自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや［ウ］に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。

Ａ　体験と気付き　　Ｂ　遊びや生活　　Ｃ　誇り　　Ｄ　暮らし　　Ｅ　愛着　　Ｆ　親しみ
Ｇ　伸ばしたいこと　　Ｈ　可能性

2025 kyosai-guild.jp

問2　指導要領解説「生活編 第5章 第3節 単元計画の作成」には、単元を構想する段階として、発想する段階、構想する段階、計画する段階について述べられている。それらを踏まえ、適切なものをA～Dから二つ選び、記号で答えよ。

A　発想する段階では、年間指導計画を踏まえ、およその単元の概要を思い描く必要がある。このときに考えなければならない要素として、児童の興味・関心、教師の願い、学習活動の特性の三つが考えられる。

B　児童の興味・関心を把握することとは、日常生活において、児童はどのようなことに興味を抱いたり関心を寄せたりしているのか、また、どのような学習を志向しているのか、それらを具体的に捉え、その学級の児童の立場から考えることである。

C　構想する段階で大切なことは、児童の思いや願い、関心や疑問を生かす、児童の活動を中心とした単元（いわゆる「経験に基づく単元」）とするか、意図した学習を効果的に生み出す教師の願いを中心とした単元（いわゆる「教材に基づく単元」）とするか、どちらかを選ぶことである。

D　生活科で単元を構成する際には、自然の事物・現象についての理解が図られることを期待する。それは、単に活動や体験を繰り返すのではなく、それらの経過が分かるように絵を描いたり、気付きを文章で書き記したりするなどの表現活動が適切に位置付けられることが大切になる。

第6問題　音楽科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第2章 第6節 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕2内容 A表現 (1)」の一部である。［　　］にあてはまる語を答えよ。

(1)　歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。
イ　曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す［　　］や気持ちとの関わりについて気付くこと。

問2　図7は第1学年の共通教材「ひらいた ひらいた」の楽譜である。後の（1）～（3）に答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図7

（1）この楽譜に従って児童と歌うとき、指導する際の目安となる「音楽を形づくっている要素」は何に設定したらよいか、適切なものをA～Dから選び、記号で答えよ。

A　音色・音の重なり　　B　音階や調・強弱　　C　旋律・拍　　D　反復・速度

（2）「ひらいた ひらいた」はどのジャンルに該当するか、適切なものをA～Dから選び、記号で答えよ。

A　民謡　　B　文部省唱歌　　C　日本古謡　　D　わらべうた

2025 kyosai-guild.jp

（3）低学年の歌唱の指導に当たって留意する点について、適切でないものをA～Dから選び、記号で答えよ。

A　児童が「歌うことが好き」と思えるようにすることを大事にしながら、興味・関心をもって取り組むことができる歌唱の活動を進める。

B　歌うことを通して音楽の楽しさに触れるとともに、遊びながら歌う活動や自然な体の動きを伴った活動などを効果的に取り入れる。

C　ハ長調の視唱に加え、イ短調の視唱にも慣れ親しむようにし、階名唱などを通して、視唱の技能を伸ばしていく。

D　自己表現の意欲が強く、自分の声を精一杯出して歌おうとする傾向が見られる。そのため、自分の歌声を大切にしながら歌詞が相手に伝わるように、ていねいに発音する歌い方を身に付けるように指導する。

第7問題　図画工作科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2内容 A表現(1)」の一部である。［　　］にあてはまる語を答えよ。

> ア　造形遊びをする活動を通して、材料や場所、［　　］などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

問2　問1の文中の下線部「特徴」に含まれる要素として適切でないものをA～Cから選び、記号で答えよ。

A　切ることや組み立てることができるといった材料の性質

B　光や風などの自然の環境、人の動き

C　本などから得られる材料や場所についての知識や概念

問3　絵や立体、工作に表す活動では、発想や構想を広げる指導を工夫する必要がある。高学年では自分なりの見通しをもつことで表現の質を高めることができるようになるので、構想をより具体的にする手立ても重要である。その方法の一つにアイデアスケッチがあるが、指導を誤ると逆効果になる場合もある。発想や技能などの広がりの妨げにならないように、アイデアスケッチの指導において注意しなければならない点を述べよ。

第8問題　家庭科について、次の問に答えよ。

問1　私たちは生活に必要な物の多くを、お金を支払って手に入れる。次の買い物（店頭販売）の場面において売買契約が成立するのはどの場面か、A～Dから選び、記号で答えよ。

A　購入したい商品に関する情報などを集めたり比較したりしながら、店内の商品の中から買う物を決めたとき。

B　レジに行って「これをください」と申し出て、売る人が「はい」と承諾したとき。

C　現金やプリペイドカードなどで代金を支払ったとき。

D　品物とレシートを受け取ったとき。

2025 kyosai-guild.jp

問2　次の（1）、（2）に答えよ。

（1）次は、みそ汁の作り方について述べたものである。［ア］～［ウ］にあてはまる語または数字を答えよ。

＜大根のみそ汁の調理手順＞（一部手順を省略している）

① 煮干しの頭とはらわたを手で取り除く。

② 一人分のみそ汁の水を150mL＋［ア］分50mLとすると、三人分作るには計量カップで3杯の水をなべに入れる。

③ 計量した水の中に煮干しを入れ、つけておく。

④ みそ汁の実に大根を使うとき、図8のような切り方を［イ］という。

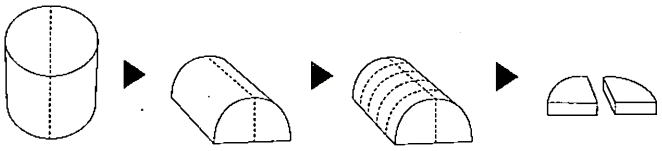


図8

⑤ なべを加熱して、実がやわらかくなったら［ウ］を入れ、再びふっとうしたらすぐに火を消す。

（2）日本の伝統的な食事を和食という。和食の特徴の一つに「だし」があるが、「だし」の主な材料や役割について、40～60字で述べよ。

第9問題　体育科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第2章 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕第1 目標」の一部である。［ア］、［イ］にあてはまる語句をA～Eから選び、記号で答えよ。

(1) 各種の運動遊びの［ア］に触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
(2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 各種の運動遊びに［イ］取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

A　楽しさ　　B　楽しさや厳しさ　　C　進んで　　D　力を合わせて　　E　主体的に

問2　第1学年及び第2学年の表現リズム遊びについて、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）指導要領解説「体育編」において、表現遊びで示されている題材として適切なものをA～Dから二つ選び、記号で答えよ。

A　宇宙探検などの未知の想像が広がる題材
B　忍者や戦いなどの二人組で対立する動きを含む題材
C　昆虫、動物園の動物など、特徴が捉えやすく多様な感じの動きを多く含む題材
D　飛行機、遊園地の乗り物など、特徴が捉えやすく速さに変化のある動きを多く含む題材

2025 kyosai-guild.jp

（2）次は、指導要領解説「体育編」のリズム遊びで示されている軽快なリズムに乗って踊ることの説明である。［ウ］、［エ］にあてはまる語句をA～Eから選び、記号で答えよ。

> 軽快なリズムに乗って踊るとは、［ウ］踊れる軽快なリズムの曲を取り上げ、［エ］を中心にリズムに乗って踊ったり、友達と調子を合わせて即興的に踊ったりすること。

A　ステップを踏んで　　B　へそ（体幹部）　　C　腰　　D　スキップで弾んで　　E　テンポ良く

（3）指導要領解説「体育編」で示されている表現リズム遊びといった運動遊びに意欲的ではない児童への配慮の例として適切でないものをA～Cから選び、記号で答えよ。

A　題材から表したい様子や動きを思い浮かべることに意欲的に取り組めない児童には、単元の導入でその題材に関連する絵本や図鑑などを提示し、題材についての興味や関心を高めるなどの配慮をする。

B　リズムに乗って踊ることに意欲的に取り組めない児童には、その児童にとって身近で関心があり、自然に体を弾ませたくなるような選曲をするなどの配慮をする。

C　表したい様子や思い浮かべた動きを表現することに意欲的に取り組めない児童には、取り上げる題材を、クラス共通の題材だけでなく、個人やグループの関心や能力の違いに応じて選ぶようにするなどの配慮をする。

第10問題　外国語科について、次の問に答えよ。

問1　次は、指導要領「第２章 第10節 外国語 第１ 目標」である。［a］～［c］にあてはまる語句をA～Gから選び、記号で答えよ。

> 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
> (1)　外国語の音声や文字、語彙、表現、［a］、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
> (2)　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を［b］読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
> (3)　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、［c］に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

A　他者　　B　文法　　C　推測しながら　　D　発音　　E　活用して　　F　文構造
G　想像しながら

2025 kyosai-guild.jp

問２　次は、指導要領「第２章 第10節 外国語 第２ 各言語の目標及び内容等 英語 １目標 (5) 書くこと」である。［ d ］、［ e ］にあてはまる語を答えよ。

(5) 書くこと

ア　大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を［ d ］ことができるようにする。

イ　［ e ］や身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

第11問題　特別の教科道徳について、次の問に答えよ。

問１　次は、指導要領「第３章 特別の教科道徳 第１ 目標」である。［ ア ］にあてはまる語を答えよ。

第１　目標

第１章総則の第１の２の (2) に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、［ ア ］についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

問２　次は、指導要領「第３章 特別の教科道徳 第２ 内容」で扱う項目である。［ イ ］、［ ウ ］にあてはまる語句をａ～ｈから選び、記号で答えよ。

A　主として自分自身に関すること
B　主として人との関わりに関すること
C　主として［ イ ］との関わりに関すること
D　主として［ ウ ］、崇高なものとの関わりに関すること

a　集団やきまり　　b　集団や社会　　c　生活やきまり　　d　生活や社会
e　郷土や自然　　f　郷土や環境　　g　生命や自然　　h　生命や環境

問３　次は、指導要領「第３章 特別の教科道徳 第３ 指導計画の作成と内容の取扱い ２」の一部である。［ エ ］、［ オ ］にあてはまる語句をａ～ｅから選び、記号で答えよ。

(6)　児童の発達の段階や特性等を考慮し、第２に示す内容との関連を踏まえつつ、［ エ ］を充実すること。また、児童の発達の段階や特性等を考慮し、例えば、［ オ ］などの現代的な課題の取扱いにも留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲や態度を育てるよう努めること。

a　情報活用能力に関する指導
b　社会の持続可能な発展
c　協働することや、社会に貢献することに関する指導
d　国際理解、情報、環境、福祉・健康
e　情報モラルに関する指導

2025 kyosai-guild.jp

第12問題　総合的な学習の時間について、次の問に答えよ。

問1　図9は、指導要領解説「総合的な学習の時間編 第2章 第2節 目標の趣旨 1総合的な学習の時間の特質に応じた学習の在り方」に示されている「探究的な学習における児童の学習の姿」である。［ア］～［エ］にあてはまる語句を答えよ。

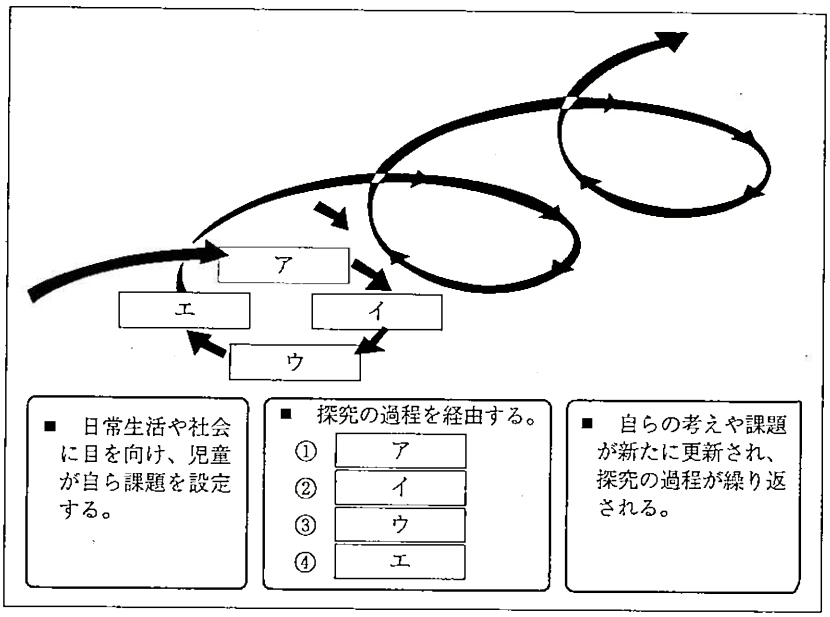


図9

問2　指導要領解説「総合的な学習の時間編 第2章 1総合的な学習の時間の特質に応じた学習の在り方」で述べられている事柄として適切でないものをA～Dから選び、記号で答えよ。

A　各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける。

B　教科等の枠を超えて探究する価値のある課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいく。

C　解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題などについても、他教科等で習得した知識や技能等を系統的に働かせて、試行錯誤することなく目の前の具体的な課題に対処し解決していこうとする。

D　学習の成果から達成感や自信を持ち、自分のよさや可能性に気付き、自分の人生や将来について考えていく。

2025 kyosai-guild.jp

第13問題　特別活動について、次の問に答えよ。

次は、指導要領「第６章 特別活動 第１ 目標」である。［ア］～［エ］にあてはまる語句をＡ～Ｈから選び、記号で答えよ。

第１　目標

［ア］の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に［イ］に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1)　多様な他者と［ウ］する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2)　集団や自己の生活、［エ］の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3)　［イ］な集団活動を通して身に付けたことを生かして、［ア］における生活及び［エ］をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

Ａ　人間関係　　Ｂ　集団生活　　Ｃ　集団や社会　　Ｄ　協働　　Ｅ　自主的、実践的

Ｆ　主体的、自律的　　Ｇ　対話　　Ｈ　学級や学校

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例

小学校

第１問題（国語）

問１	（1）	①	形式段落	②	意味段落 （完答１点）			
	（2）	うめぼしは、体に塩分をおぎなうはたらきをします。（２点）						
	（3）	A （１点）						
問２	a	D （１点）	b	H （１点）	c	A （１点）	d	E （１点）
問３	e	H （１点）	f	F （１点）	g	B （１点）	h	D （１点）
問４	（1）	C （１点）	（2）	tan’i （１点）				

第２問題（社会）

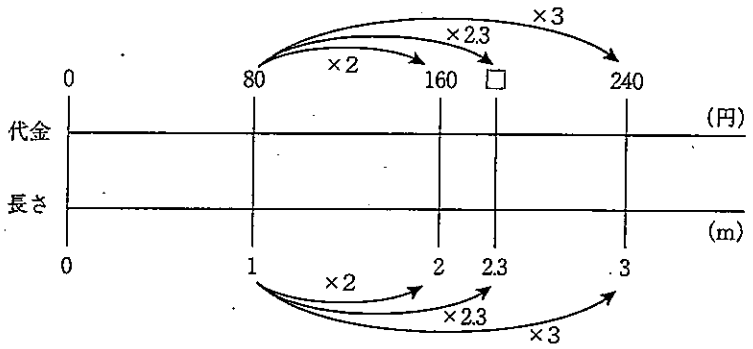
問１	a	F （１点）	b	C （１点）			
問２	（1）	c	A （１点）	d	D （１点）		
	（2）	e	18 （１点）				
	（3）	自然災害からの復旧や復興（１点）					
	（4）	A （１点）					
問３	（1）	【国名】　ポルトガル （１点）	【地図】D （１点）				
	（2）	石見銀山遺跡とその文化的景観（１点）					
	（3）	B （１点）					
	（4）	児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産の重点の置き方に工夫を加えるなど、精選して具体的に理解できるようにすること。（２点）					

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例

小　学　校

第３問題（算数）

<table>
<tr><td>問１</td><td>ア</td><td>B
（１点）</td><td>イ</td><td>F
（１点）</td><td>ウ</td><td>C
（１点）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">問２</td><td>（１）</td><td>B
（１点）</td><td colspan="4">C
（１点）</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="5"> 

（２点）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">問３</td><td>（１）</td><td colspan="5">たたみの枚数を 40 枚にそろえて考えると
梅の間の混み具合いは、たたみの数が４倍だから、子どもの人数も４倍して、
６×４＝24 で 24 人。
松の間の混み具合いは、たたみの数が５倍だから、子どもの人数も５倍して、
５×５＝25 で 25 人。
たたみ 40 枚あたり子どもの数が多い松の間の方が混んでいる。　（２点）</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td>C
（１点）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">問４</td><td>（１）</td><td>カ</td><td>A
（１点）</td><td>キ</td><td colspan="2">D
（１点）</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="5">【グラフの種類】（１点）

帯グラフ

【理由】（１点）
　学年別に風邪をひいている児童の割合を整理し、それを複数の帯グラフに表して並べてみることで、割合の違いを捉えることができる。そうして、「風邪をひいている児童の割合は○年が他の学年より大きい。」というような判断ができる。</td></tr>
</table>

2025 kyosai-guild.jp

第４問題（理科）

問１	ア	B （１点）	イ	C （１点）	ウ	F （１点）
問２	（１）	明かりがつくつなぎ方は、乾電池の＋極、豆電球、乾電池の－極を１つの「わ」のように導線でつないでいる。（１点）				
	（２）	・豆電球（のフィラメント）が切れている。 ・豆電球がしっかりとソケットにねじ込まれていない。 （２点）				
	（３）	【理由として考えられること】 缶の表面にぬられている塗装は電気を通さない。 【このことを確かめる方法】 缶の表面にぬられている塗装を、紙やすりなどで剥がして、剥がした部分とソケットの導線を接続し、豆電球がつくかどうかを確認する。 （２点）				
問３	・方位磁針に近づけて針が動くかどうかを確認する。 ・砂鉄がくっつくかどうかを確認する。 （２点）					
問４	地球が一つの大きな磁石になっているから。（２点）					
問５	A （１点）	B （１点）				

第５問題（生活）

問１	ア	E （１点）	イ	B （１点）	ウ	H （１点）
問２	A （１点）	B （１点）				

第６問題（音楽）

問１	情景 （１点）					
問２	（１）	C （１点）	（２）	D （１点）	（３）	C （１点）

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例

小　学　校

第７問題（図画工作）

問１	空間 （１点）
問２	C （１点）
問３	アイデアスケッチを描くことが目的化しないように注意する。（２点）

第８問題（家庭）

問１	B （１点）						
問２	（１）	ア	蒸発 （１点）	イ	いちょう切り （１点）	ウ	みそ （１点）
	（２）	こんぶ・かつお節等の材料を水とともに加熱して、そのうま味成分を抽出し、調理に利用して調理の味を良くする役割がある。(50 文字) （２点）					

第９問題（体育）

問１	ア	A （１点）	イ	C （１点）	
問２	（１）	C （１点）	D （１点）		
	（２）	ウ	D （１点）	エ	B （１点）
	（３）	C （１点）			

第 10 問題（外国語）

問１	a	F （１点）	b	C （１点）	c	A （１点）
問２	d	書き写す （１点）	e	自分のこと （１点）		

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解 答 例

小　学　校

第 11 問題（道徳）

問１	道徳的諸価値 （１点）			
問２	イ	b （１点）	ウ	g （１点）
問３	エ	e （１点）	オ	b （１点）

第 12 問題（総合的な学習の時間）

問１	ア	課題の設定 （１点）	イ	情報の収集 （１点）	ウ	整理・分析 （１点）
	エ	まとめ・表現 （１点）				
問２	C （１点）					

第 13 問題（特別活動）

ア	C （１点）	イ	E （１点）	ウ	D （１点）
エ	A （１点）				

2025 kyosai-guild.jp